

学務部長	入付係長	事務部長	理事	局長	局主幹	主幹	係長	係長	員	担	医

平成24年度第8回マネジメント会議記録

○日時 平成24年6月12日(火) 7:20~8:40

○場所 理事長室

○出席者 理事長、副理事長、教育研究理事、医療理事、地域医療理事、経営渉外理事、管理運営理事、須藤次長、堀切次長、総務課長、企画財務課長、復興事業推進室長、研究推進課長、学生課長、局主幹、岡崎主幹、坂内主幹、齋藤主幹

○概要

(甲状腺検査について)

- (阿部理事) 資料により説明
- 学長・副学長会議において山下先生から提言があった。メンタルヘルスケアは政府で評価が高く、更に進めてほしいということ、また、甲状腺検査はもっと早く進めてほしいということであった。
神経精神医学講座の教授の選考に当たっては、メンタルヘルスケアのシステムを広げられるような人材を選んでほしい。
甲状腺検査については、今後必ず誤診が出ると考えている。その際の賠償の問題が生じる。現状では個人の賠償責任保険しかない状況であるが、本来は医大が責任を持つべき問題だと思う。個人が訴えられないように対応をお願いしたい。
- (阿部理事) 心のケアの問題に対しては、神経精神医学講座、県の心のケアチーム、丹羽先生が取り組んでいる。「今後も既存の体制で対応する」、「新センター内に心のケアの講座を開設する」という2通りの方法があるが、後者で検討している。
- 政府の方針はメンタルヘルスケアを大きな柱にしている。甲状腺検査は医師会との関係もあるが、早く拡大してほしい。甲状腺検査部門に外科部門と内科部門を作った方がよいのか、また医師会をどう巻き込むかを鈴木教授と検討してほしい。
- (副理事長) 甲状腺検査の拡大については、全国医学部長病院長会議においてお願いしなければならないと考えている。また、医師会の問題については、地域医療協議会を作ってそこに医師会にも入っていただくこととしたい。
- (阿部理事) 県内のモデル拠点を早く作った方がよい。
- 竹之下副理事長、進捗状況を次回報告するように。
- (横山理事) 全国医学部長病院長会議のどこでお願いをするのか。被災地支援部会もある。どう色分けするかが問題だと思う。
- 全国医学部長病院長会議はいつ開催されるのか。
- (棟方理事) 10月頃になると思う。
- それでは遅いのではないか。全国医学部長病院長会議で依頼するにしても、何をどのような手続きで行うのかを決めた上でお願いしなければならない。
- (副理事長) 来週までに報告する。
- 甲状腺検査と心のケアは同じクライテリアで考えてほしい。
藤島理事、医師の賠償責任保険の対応について進めてほしい。
- (藤島理事) 甲状腺検査の賠償責任保険は、個人で加入されているものとは別に入

- っていただくこととしたい。
- 組織として加入する保険料については、県が負担するのか県民健康管理センターが負担するのか。
 - (藤島理事) 県民健康管理センターの予算で支払うことになると思われる。また、県民健康管理センターにはリーガル部門が必要であるので、体制づくりを検討している。
 - (横山理事) 甲状腺検査の関連で、受診者から写真がほしいであるとか、セカンドオピニオンをお願いしたいという話がある。現時点では対応していないが、今後の対応をどうするのか。
 - (阿部理事) 5mm以下のものは問題がないというスタンスであるため、5mm以下のものを1mm単位で答えても全く意味がないと考えている。
 - その基準がどうやって決まったかが大事である。学会にその基準を承認してもらう必要がある。資料は必ず相手に出さなければならない。セカンドオピニオンについても対応する必要がある。
 - (横山理事) 基準等の説明があった方がよいのではないか。
 - (阿部理事) 説明をすることとしたい。
 - (藤島理事) 地域がん登録拠点については、現在6名まで増えている。将来の体制としてベストなものは何かを検討していただき、それが決まってから県に話をしたい。
 - 現状の体制で市町村をカバーできるのか。
 - (藤島理事) 県と協力して実施するようになる。現在、どのような体制にすべきか検討を指示している。
 - 誰が責任者になるのか。
 - (藤島理事) 私が責任者となる。
 - (阿部理事) 県にもコーディネーターがいるが、がんになった方の登録がほとんどできていない。
 - ワンペーパーにまとめて報告してほしい。
 - (阿部理事) 了解。
 - 最終的には県の責任だが、県は本学に任せていると考えている。それなら人と予算をもらわなければならない。
 - (棟方理事) 本学だけではできない。
 - (藤島理事) 県としっかり連携してやっていきたい。
 - 石田先生と一緒に進めてほしい。
 - (藤島理事) 帰村対策に本学の姿が見えないという話があった。本学、ひらた中央病院、川内村、浪江町で協定を締結したい。
 - 横山理事と連携して進めてほしい。
 - (藤島理事) ひらた中央病院は、別の思惑もあるので、距離を置きながら進めたい。

(新センター基本構想について)

- (復興事業推進室長) 資料により説明
- この資料を有識者会議に出すのか。新センターはかなり大きい、わかっている組織を入れた方がよいのではないか。